

新クリーンセンター建設の現状は

津山誠心会議 北本周作



質問 ↓市長検証後の事業の進捗状況は。
答弁 ↓文化財調査、環境影響評価、測量設計を再開し、配置案の修正等、計画の見直し中である。今後の予定は二月に開催予定の組合議会上に報告、協

議予定である。

質問 ↓県農業試験場北部支場の利用は。
答弁 ↓「跡地利用検討委員会」を設置し、素案を参考に公益性や効果、農業振興の位置付けと共に活用方針を整理し、岡山県との協議を鋭意進めたい。
質問 ↓中学校の武道教育の必修化について。
答弁 ↓武道を通して礼儀を重んじ相手を尊重する武道精神を学び、「礼に始まり礼に終わる」という武道の伝統的な考えや態度を学ぶことは本市の学校課題でもある規範意識を高め、寛容の心や公德心を育てることになり、「人間形成の道」につながるものである。

山林の危機・情報を活用した地域活性化について

津山誠心会議 田口慎一郎



質問 ↓クマなどの処分が、その絶滅を後押しする現状から視点を変えて、自然との共生を将来に向けて取り組むべき。
答弁 ↓市有林は、広葉樹を中心に植栽の方針。動物に優しい針広混交林に向

けて取り組む。

質問 ↓外国資本等による水源林の売買と土地制度の盲点をどう見るか。
答弁 ↓森林組合や司法書士と連携し、情報収集や交付金を利用した境界確認作業の働きかけ等により、所有形態の把握に努める。
質問 ↓市民同士や市との情報交換などの場を提供して、更なる地域活性化に向けてSNSなどの有効メディアの活用を検討してはどうか。
答弁 ↓先進事例などを参考に費用対効果を見極め、津山市で利用可能な媒体を研究する。

津山駅前に「賑わい」を取り戻す施策のあり方は

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 ↓津山駅前「開発」について過去様々なことが言われたが、実現しないのは、何が原因か。どうするつもりか。
市長 ↓主に市の経済的理由、その時々の方針の考えなどが原因で実現できて

いない。私は「住民の声を聞いてぜひなんとかしたい」と強く思っている。

質問 ↓「道の駅」とか「夕方市場」など人が集まる施策を考えてほしい。
質問 ↓ごみ処理施設建設予定地の「領家」について検証をしたが、その後、「桑山前市長が行った覚書を白紙に戻す」とか「施設建設位置を移動する」などの課題はどうなっているのか。
答弁 ↓地元と協議しながら、覚書の見直しや施設配置案の修正を検討していく。
質問 ↓覚書は公募の条件に違反しており、「訂正」ではなくて一度白紙に戻す必要がある。

景気対策をどうする

新風会 松本義隆



質問 ↓通学区域制度弾力化検討委員会の答申はどんな内容で、凍結の理由は。
答弁 ↓隣接する学区からの選択制度、特定の小規模特認校制度の導入。総務文教委員会や、市民に課題を指摘さ

れ、行政への不信や学校運営の混乱につながりかねないと判断。

質問 ↓一般競争入札を四千万円以上の工事に適用しては。特定建設工事共同企業体の一般競争入札は、五社以上で行うべく実施要綱を改定すべきでは。
答弁 ↓地域産業の育成も考慮し、検討課題。国・県は一社で成立するとしているが、必要あれば今後検討する。
質問 ↓景気対策で合併特例債を活用し、駅前再開発・総合武道館・公認プール等を建設し、景気の浮揚にしたい。
答弁 ↓総合計画の中で財政運営の見直しを確立させることと併せて検討する。